

あかるく かしこく たくましく

読書の秋・おススメのこの一冊

令和5年11月8日 No. 33 文責：校長 佐野紳二

1年1組担任	一年一組 せんせいあのね	鹿島和夫作／ヨシタケシンスケ絵
1年2組担任	ルリユールおじさん	いせひでこ
1年3組担任	心ってどこにあるのでしょうか？	こんのひとみ作／いもとようこ絵
2年1組担任	ノラネコぐんだんと海の果ての怪物	工藤ノリコ
2年2組担任	おやくそくえほん	高濱正伸
3年1組担任	火よう日のごちそうはひきがえる	ラッセル・E・エリクソン
3年2組担任	きみを強くする50のことば	工藤勇一
3年3組担任	あいうえオリンピック	中川ひろたか・文／平澤一平・絵
4年1組担任	びりっかすの神さま	岡田 淳
4年2組担任	車のいろは空のいろ ゆめでもいい	あまんきみこ
5年1組担任	なぜ？ どうして？ 科学のお話	大山光晴
5年2組担任	チームふたり	吉野万里子
6年1組担任	新13歳のハローワーク	村上 龍
6年2組担任	超こども言いかえ図鑑	川上徹也・小川晶子
支援学級①担任	ガストンのきぶんをととのえるえほんシリーズ	オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ
支援学級②担任	おえかきしりとり	新井洋行 他
支援学級③担任	おすしのせかいりょこう	竹下文子
支援学級④担任	ぼくはびっくりマーク	エイミー・クラウス・ローゼンタール
支援学級⑤担任	すいはんきのあきやすみ	むらかみしいこ作／はせがわよしふみ絵
教頭先生	ドオン！	山下洋輔・作／長 新太・絵
教務主任	不思議な国のアリス 鏡の国のアリス	ルイス・キャロル
養護教諭	はぶらしくんです。	とよたかずひこ
教務①	ふたのたね	佐々木マキ
教務②	おとしものしちゃった	中山千夏・長 新太
栄養職員	どうして野菜を食べなきゃいけないの？	川端輝江
事務職員	しりとり	安野光雅
教務③	ふしぎなキャンディーやさん	みやにしたつや
教務④	ないた赤おに	浜田廣介・文／いもとようこ絵
教務⑤	なんのかげ？ どうぶつ？	やまがたしょうへい
教務⑥	ツナグ	辻村深月
教務⑦	あんなに あんなに	ヨシタケシンスケ
教務⑧	そのときがくるくる	すずきみえ・作／くすはら順子・絵
司書	わすれものの森	岡田淳+浦川良治
校長	光村ライブラリー (全18巻)	小川未明・星新一 他多数

ホームページや図書だよりではすでにお伝えしていますが、10月10日から今週末までの1か月間、小笠原小学校では秋の読書月間としてさまざまな取組がなされています。その中のひとつに、「先生方のおススメの本」を紹介するコーナーがあります。この取組自体はずいぶん前から行われており（私が教諭だった15年以上前からずっと続いています）、子どもたちに読書を促す取り組みの一つになっています。

先生方が紹介してくれた本は、子どもたちにも結構人気で、多くの子が紹介された本を借りてくれているようです。

保護者の皆様にも、10月24日の授業参観の折に見ていただけたと思いますが、先生方が書いてくれた本の紹介はとても美しく、楽しく、工夫されています。本来はその一つ一つを画像で紹介したいところですが、なかなか難しいところもあるので、今回は書名と作者のみ紹介させていただくことにしました。子どもが読んで面白い本は、大人が読んで面白い！と私は思っています。是非、保護者の皆様も小笠原小学校の先生方が紹介してくれた本を実際に手に取って、読んでみていただければと思います。



（あまり参考にならないと思いますが）校長がすすめる大人向けの本

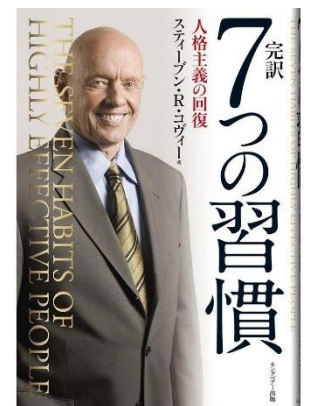
子どもたちにはともかく、この通信を読んでくださっている保護者のみなさんに本を勧めるのは、おこがましいという気がしないでもないのですが、私が好きな本の中で、みなさんにお勧めしても恥ずかしくなさそうな本を何冊か紹介させていただきます。

校長のおススメ本① スティーブン・R・コヴィー著「7つの習慣 人格主義の回復」（キングベアー出版）

言わずと知れた名著という感のある「7つの習慣」なので、きっとすでに読まれた方も多いのではないかと思います。「主体的である」「終わりを思い描くことから始める」「最優先事項を優先する」「WIN-WINを考える」「まず理解に徹し、そして理解される」「シナジーを創り出す」「刃を研ぐ」の7つの習慣について書かれていて、物事の見方や考え方を私たちに示してくれる本です。ハードカバーはとっつきにくいという人にはさまざまな解説本も出版されているので、そちらから読んでみるのもいいかも知れません。

解説本 まんがでわかる 7つの習慣（全4巻） 宝島社

13歳から分かる7つの習慣 自分を変えるレッスン 日本図書センター

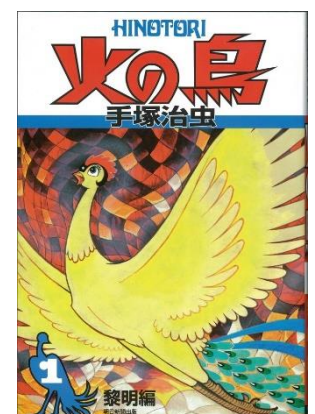


校長のおススメ本② 工藤勇一・青砥瑞人著「最新の脳研究でわかった！ 自立する子の育て方」 SB新書

工藤勇一さんは元麹町中学校の校長を務められていた方で、宿題廃止・定期テスト廃止・固定担任制廃止など、さまざまな教育改革を打ち出された方で、数多くの著書もある方です。（子どもにすすめる本でも、3年2組担任が「きみをつよくする50のことば」を紹介しています）青砥瑞人さんはUCLAの神経科学学部を卒業した方で、神経科学という最先端研究を教育分野で活用する研究をされています。2人の対談形式で書かれたこの本は、子育ての多くのヒントを私たちに与えてくれる一冊です。

校長のおススメ本③ 手塚治虫著「火の鳥（全13巻）」 角川文庫

最後に紹介するのは、漫画の神様・手塚治虫のライフワークと言われている「火の鳥」です。とても壮大な物語で、漫画という枠には収まらない、素晴らしい作品だと思います。ギリシャ・ローマ編は、その後の壮大な物語のプロトタイプ（原型・試作品）という感じですが、そのほかの話は（長短ありますが）どれも読みごたえがあり、どこから読んでも物語の世界に引き込まれます。



好きな本や音楽の話をするのはとても楽しいことのように思います。ぜひ、みなさんの「おススメの一冊」も紹介していただけると嬉しいです。なお、ここでは紹介できない校長の好きな本（変な本ではないですよ）が知りたい方は、いつでも校長室にお越しください。